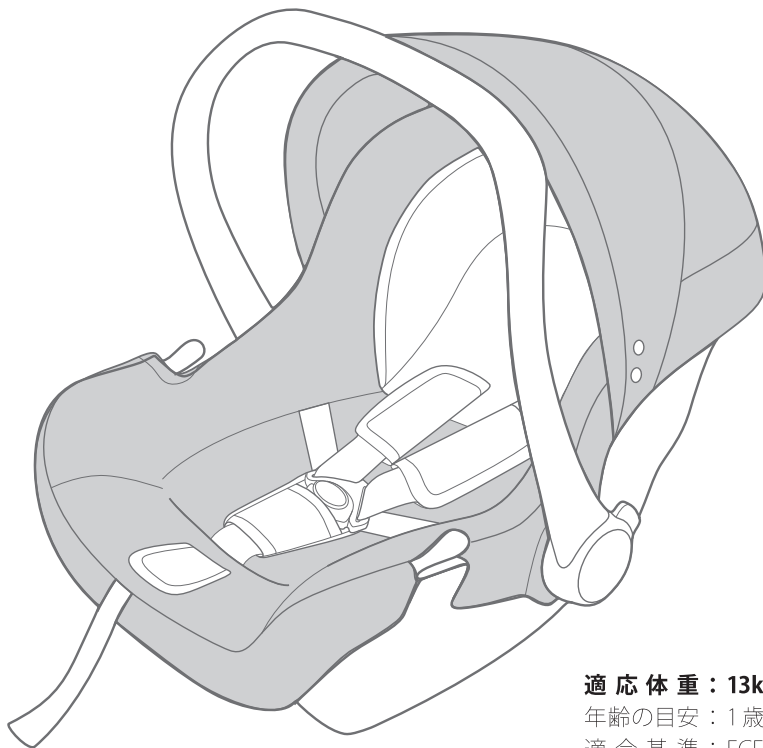


Joie™

juva™

ジョイー・チャイルドシート ジュバ(ノーティカ) i-Base付

## 取扱説明書 / 保証書



**適応体重：13kg 以下**

年齢の目安：1歳半頃まで

適合基準：ECE R44/04 G0+

### 必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

※説明書内のイラストと実際の商品とは多少形状が異なる場合があります。

# もくじ

## もくじ

ユーザー登録のお願い	3
チャイルドシートについて	3
自動車との適合について	3
表記の説明	4
本製品の特長	5
お使いいただくことのできるお子さまの範囲	5
取り付け、使用できない座席	6
取り付けが可能な座席と不可能な座席	8
座席シートベルトの種類の確認	8
最初に内容物をご確認ください	9
各部の名称	9
使用上の注意事項	10
緊急時の操作	15
自動車の座席について	15
本製品の使いかた	16
バックルの使いかた	16
キャノピーの使いかた	16
キャリングハンドルの使いかた	16
肩ベルトの調整のしかた	17
お子さまの乗せかた	20
お子さまの降ろしかた	21
チャイルドシートとして使用する	22
自動車座席への取り付けかた	22
ベビーキャリーとして使用する	24
ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する	26
ベビーカー用シートとして使用する	27
取り付けかた	27
取り外しかた	28
使用上の注意	28
お手入れのしかた・その他	28
シートカバー、パッド類の取り外しかた	28
汚れの落としかた	30
シートカバー、ソフトパッドカバー、パッド類	30
本体、ベルト類	30
バックル、差込タンク	31
保管のしかた	31
廃棄のしかた	31

## ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

## チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に

正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 自動車との適合について

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって自動車の座席に固定して使用します。

ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合があります。

本製品が取り付けられる自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。




<http://www.katoji.co.jp/>

# 表記の説明



## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

 <b>危険</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 <b>警告</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 <b>注意</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。


### ● 強調表記について

	この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。
	この印に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

### ● 本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

### ● その他の表記について

 **ポイント!**

「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

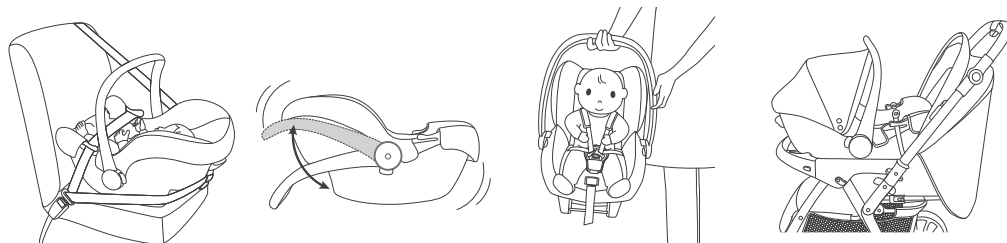


## 本製品の特長・お使いいただくことのできるお子さまの範囲

### 本製品の特長

本製品は、チャイルドシートとして使用できるほか、ベビーチェア・ロッキングチェア（揺りかご）、ベビーキャリーとしてもご使用いただけます。

また、指定のベビーカーに取り付けてベビーカー用のシートとして使用することができます。



チャイルドシート

ベビーチェア・ロッキングチェア

ベビーキャリー

ベビーカー用シート

### お使いいただくことのできるお子さまの範囲

本製品は、次の範囲にあてはまるお子さまにご使用いただけます。本製品の使用可能な範囲は、ECE R44/04 グループ 0+ の規定である、お子さまの体重を基準に使用範囲を定めています。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

この範囲は、チャイルドシートだけではなく、他の使用方法（ベビーチェア・ロッキングチェア、ベビーキャリー、ベビーカー用シート）においても共通します。

**使用可能なお子さまの範囲：** 体重 0 ～ 13kg

**使用できる年齢の目安：** 0 ～ 1.5 歳頃まで

※年齢は目安です。1.5 歳未満でも体重が 13kg を超えたら本製品を使用してはいけません。

#### 警告

年齢が使用できる年齢の目安の範囲であっても、お子さまの体重が 13kg を超えたら本製品を使用してはいけません。

# 取り付け、使用できない座席

## 取り付け、使用できない座席

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定します。ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。適合車種一覧を参照してください。

また、以下のホームページにおいても、適合車種一覧を掲載しており、適宜更新いたしておりますので、必要に応じてご参照ください。

<http://www.katoji.co.jp/>

### ⚠ 危険

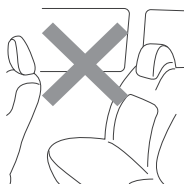
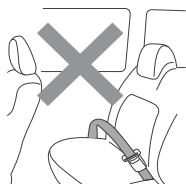
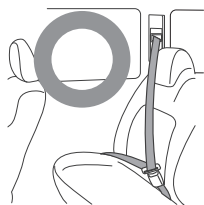
#### ⚠ 危険

以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### 3点式シートベルト以外の座席

座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



### ⚠ 危険

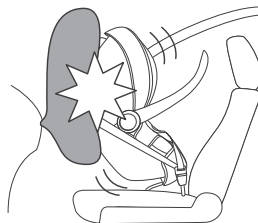
#### 適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

#### フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席では使用しないでください。



#### 助手席

本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

## 取り付け、使用できない座席

### ⚠ 危険

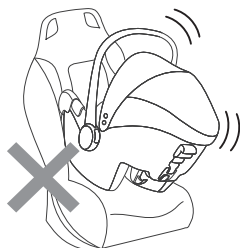
#### パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的に座席シートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では、本製品を使用できません。

#### 本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けできません。

また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどする場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



#### 乗員の脱出に影響を与える座席

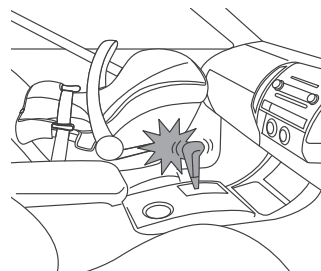
2ドア車の助手席や、片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定して、取り付け固定、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

### ⚠ 危険

#### 本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。



#### 進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

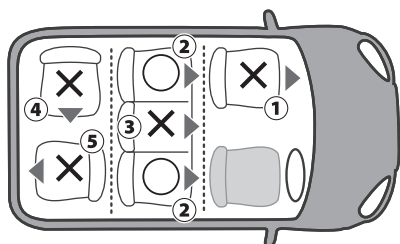
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。

#### その他、取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、座席シートベルトの長さ、シートベルトバックルの高さや前後の位置、などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では、使用できません。

## 取り付けが可能な座席と不可能な座席・座席シートベルトの種類の確認

### 取り付けが可能な座席と不可能な座席



#### ①助手席

取り付け、使用してはいけません。

#### ② 2列目以降、左右ドア側座席

取り付け可能です。

#### ③ 2列目以降、中央座席

取り付け、使用してはいけません。

#### ④ 進行方向に向かって横向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

#### ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

### 座席シートベルトの種類の確認

本製品は、ECE R16に準拠した3点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するように設計されています。

3点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

#### ⚠危険

シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け、使用できない場合があります。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け、使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

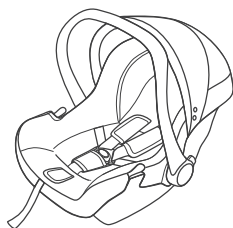
シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	取り付けの注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
ELR/ALR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常時はELRとして機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	○	ELRで取り付け。ALRに切り替わってしまった場合、シートベルトを最後まで引き出し、ELRに切り替えてから取り付けしてください。
その他のシートベルト	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

※中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

# 最初に内容物をご確認ください・各部の名称

## 最初に内容物をご確認ください

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものがそろっているかどうか、確認してください。足りないもの、破損しているものがある場合、そのまま使用にはならず、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



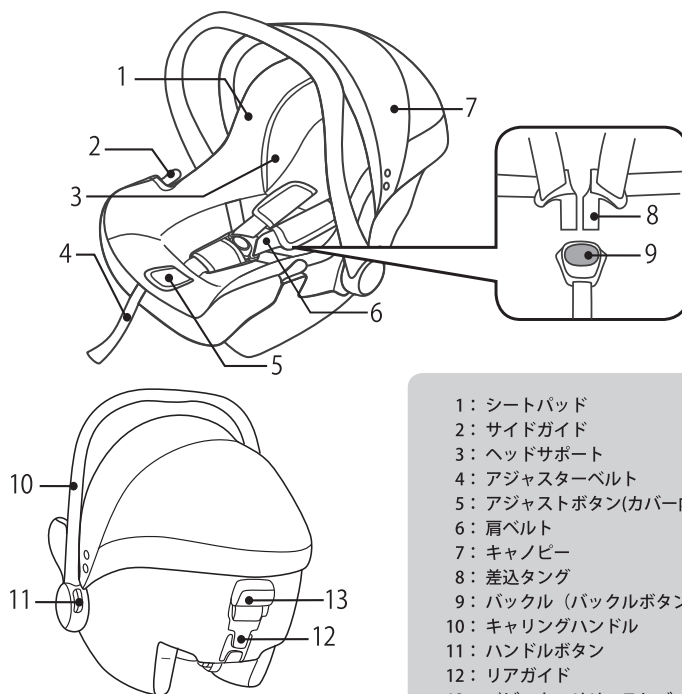
取扱説明書／保証書（本書）



ユーザー登録はがき

## 各部の名称

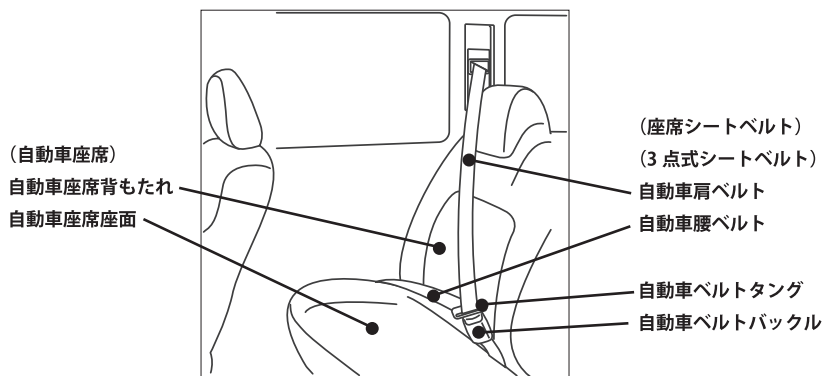
本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



# 各部の名称・使用上の注意事項

## (自動車に関わる部位、部品の名称)

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



## 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

### ⚠️ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

#### 正しく自動車座席に固定して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示に従って、正しく自動車座席に固定してください。

正しく固定されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

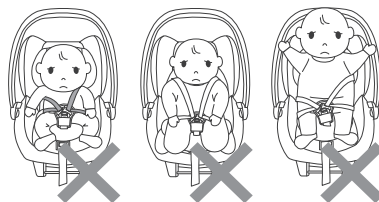
#### 使用条件は厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準のECE R44/04に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き取り付け）が、定められています。P5の「お使いいただくことのできるお子さまの範囲」の条件に満たない、または超えたお子さまは、本製品を使用してはけません。

### ⚠️ 危険

#### お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しくお子さまを固定して下さい。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、乳幼児ベルト、座席ベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



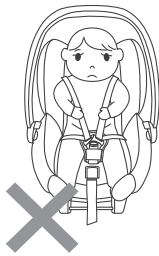
#### リクライニングの位置を確認すること

リクライニング機構のついている専用ベースに本製品を装着し、ご使用になる場合は必ず専用ベースのリクライニングを確認して下さい。なお、ご使用の際は必ずリクライニングを一番倒した状態で使用してください。

## ⚠ 危険

### 体型が合わなくなったら使用しないこと

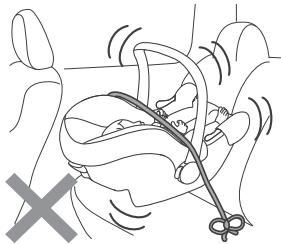
体重が 13kg に満たなくても、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合には、お子さまを正しく固定できず、お子さまが窮屈なばかりでなく、衝撃を受けた際に、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。



### 指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、適合する車種、座席の 3 点式シートベルトで取り付け、または、別売の ISO-FIX ベースに取り付けて使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のもので本製品を固定してはいけません。シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

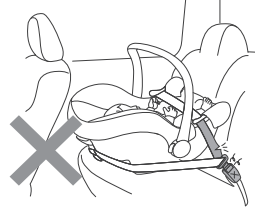
3 点式シートベルトまたは ISO-FIX ベースによって本製品が自動車座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかり窒息するなど重大な事故につながるおそれがあります。



## ⚠ 危険

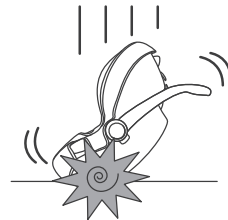
### 損傷した座席シートベルトでの取り付け、使用

損傷している座席シートベルト（自動車ベルトタング、自動車ベルトバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に座席シートベルトが切断したり自動車バックルが外れたりして、本製品が座席から外れ、お子さまや他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



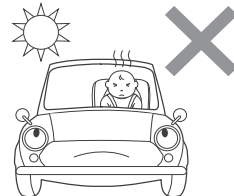
### 強い衝撃を受けた本製品／損傷した本製品は使用しないこと

落下、車のドアで強くはさむ、交通事故にあったなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しない可能性があります。



### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、乳幼児ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。





# 使用上の注意事項

## 警告



### 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

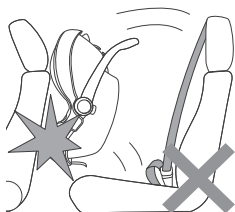
#### 走行前には本製品の状態を確認すること

走行前には、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、必ず確認してください。お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車の座席シートベルトや他の部品に触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性もあります。



#### 車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、他の同乗者にあたるなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



#### 本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作、座席の移動をした場合には状態を確認すること

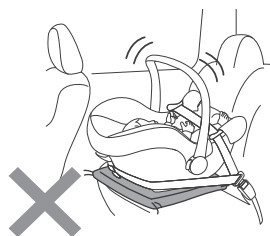
本製品を、3点式シートベルトで取り付けただ後に、取り付けした自動車の座席のリクライニング操作、また、座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後は、必ず取り付け状態を確認してください。

## 警告

### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

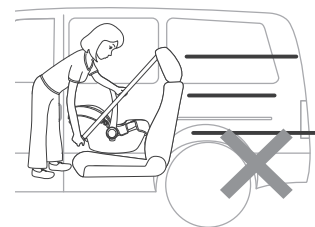
座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けただ際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



#### 走行中に本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中に操作してはいけません。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



#### 適宜、お子さまの状態を確認すること

本製品の使用中、月齢の低いお子さまにご使用いただいている場合は特に、適宜、安全な場所に自動車を停めてお子さまの状態を確認するようにしてください。

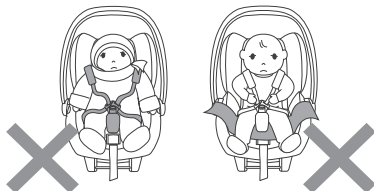


## 警告

### 不適切な着衣では使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、厚みのあるダウンジャケットなどの厚着や、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣で本製品を使用しないでください。

また、毛布や座布団などの敷物を本製品の座席にしかないでください。



### ベルト類がゆるんだ状態で使用しないこと

自動車の座席シートベルト、本製品の肩ベルトが緩んだ状態で使用してはいけません。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が自動車座席から外れるおそれがあります。また、これらのシートベルトがゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

ベルト類は、本取扱説明書の指示に従い、正しくお使いください。

### 本製品の部品を取り外して使用しないこと

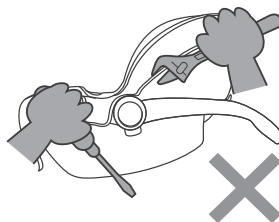
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

また、シートカバーなど付属品は純正のもの以外は使用しないでください。安全に使用できない恐れがあります。

## 警告

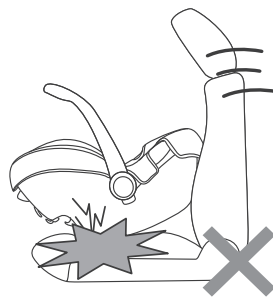
### 本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



### 本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。



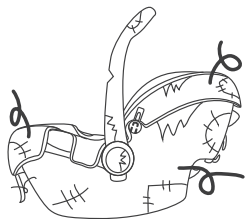
自動車のシートベルトバックルが長すぎる場合はチャイルドシートが安全に固定できない可能性がございます。もし、お客様での判断が難しい場合は巻末のお客様サービスまでご連絡下さい。

# 使用上の注意事項

## 警告

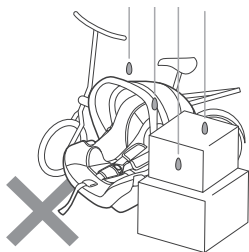
### 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

本製品の中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。また、部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、購入日から6年を経過した本製品は使用しないでください。



### 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



### ベビーカーには確実に取り付けて使用すること

本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、ベビーカー用のシートとして使用する場合には、本取扱説明書およびベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく、確実に取り付けて使用してください。また、本製品は、当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損し、本製品が落下するおそれがあります。

## 警告

### 本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合、キャリングハンドルを含め、本製品だけを持ってベビーカー全体を持ち上げてはいけません。ベビーカーを持ち上げる必要があるときは、ベビーカーのフレームの安定の良い部分を持って持ち上げるようにしてください。

### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシート、ベビーチェア・ロッキングチェア・ベビーキャリー、および当社が指定するベビーカー用シートとしてのみ使用することができます。重大な事故につながるおそれがありますので、それ以外の目的で使用してはいけません。



### キャリングハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること

キャリングハンドルが、正しく固定されていない状態で、キャリングハンドルを持って本製品を持ち上げると、本製品が思わぬ動きをして、本製品が落下したり、お子さまが落下したりするおそれがあります。必ず、キャリングハンドルをキャリーモードで確実に固定してから本製品を持ち上げるようにしてください。

### お子さまの手足が挟まれないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付ける際およびISO-FIX ベースに取り付ける際には、お子さまの手足に注意し、本製品と、ベビーカーや自動車座席の間に挟まないようにしてください。

## 使用上の注意事項・緊急時の操作・自動車の座席について

### ⚠️ 注意

#### ⚠️ 注意

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

#### 部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、本製品に覆いをするなどして加熱を防ぐようにしてください。

#### 車内の動くものは固定しておくこと

交通事故や急制動の際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある移動する物品は適切に固定するようにしてください。

### ⚠️ 注意

#### 適切にお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、バックルや、差込タング、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

#### 長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。特に、チャイルドシートとして本製品を使用する場合、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

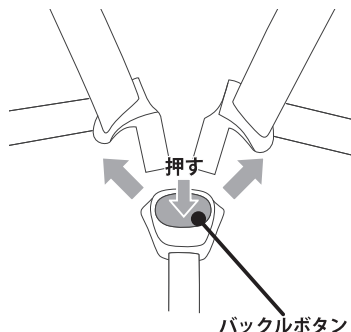
## 緊急時の操作

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、乳幼児ベルトや自動車の座席シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車の座席シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

## 自動車の座席について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強くシッカリと取り付けられる必要があり、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承くださいませ。

当社は、この損傷に関する損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。



### ⚠️ 警告

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

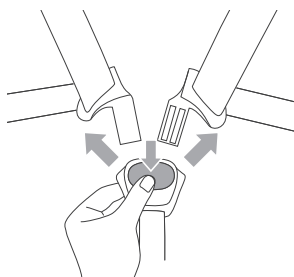
# 本製品の使いかた

## 本製品の使いかた

### バックルの使いかた

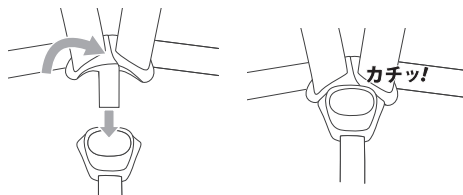
#### 01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。



#### 02

バックルを留めるには、正面から見て左側の差込タングを上にして、左右の差込タングを重ね、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。



### ⚠危険

#### バックルを正しく留めること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

バックルに異常がある場合、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客サービスまでご連絡ください。

また、バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

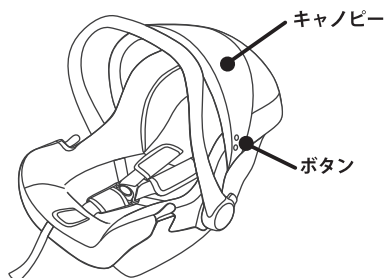
### キャノピーの使いかた

#### 01

キャノピーは、お子さまに日差しが直接あたらないようにするために使用します。

#### 02

キャノピーを取付ける場合は、本体左右にキャノピーのボタンで取付けて下さい。



### キャリングハンドルの使いかた

#### 01

キャリングハンドルは3つのポジションで使うことができます。

##### ①キャリーポジション

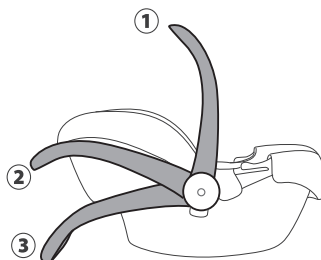
チャイルドシート・ベビーキャリー・ベビーカー用シート の各モードで設定します

##### ②ロックポジション

ロックングチェアモードで設定します

##### ③チェアポジション

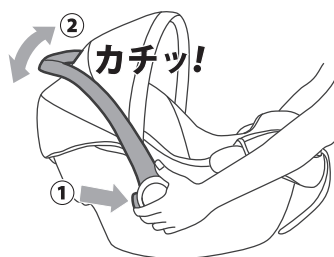
ベビーチェアモードで設定します



## 02

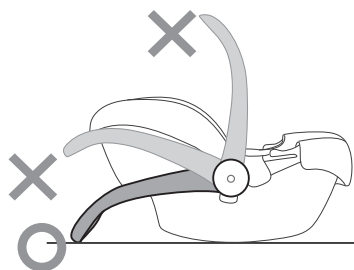
キャリングハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを両方同時に押しながら、②ハンドルを動かし、任意のポジション（3つのポジションのいずれか）まで動かすと、カチッと音がしてキャリングハンドルが固定されます。

目的のポジション以外で固定されてしまった場合、もう一度ハンドルボタンを押して作業をやり直してください。



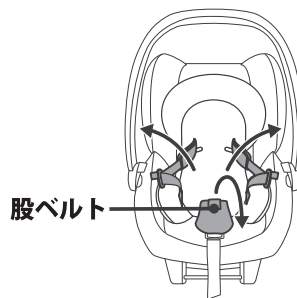
## 02

本製品を室内の平らで安定した場所に置き、キャリングハンドルを、チェアポジションに調整します。チェアポジション以外では、本製品が前後に揺れて安定しません。



## 03

お子さまが座りやすいよう、あらかじめバックルを外し、肩ベルトと股ベルトを外側に出しておきます。



## 肩ベルトの調整のしかた

### 01

肩ベルトの高さを、お子さまの体型、成長、に合わせ調整します。肩ベルトの高さは3段階に調整できます。

実際に本製品の使用開始前に、お子さまを実際に本製品に乗せ、肩ベルトの高さを調整します。お子さまの成長や、着衣の状況に応じて適宜肩ベルトの高さは調整するようにしてください。

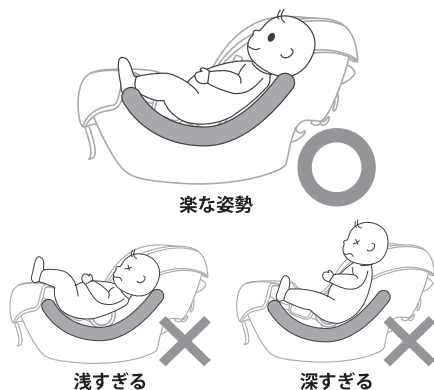
### 警告

肩ベルトが適切に調整されていないと、お子さまが本製品から落下したり、過度の負担がかかったりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

# 本製品の使いかた

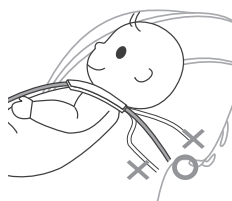
04

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせませす。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。



05

肩ベルトの高さは3段階で調整できます。お子さまの肩の位置よりも低く、かつ最もお子さまの肩の位置に近い高さの、肩ベルトの取り出し穴の位置を覚えておきます。



## ⚠ 危険

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、特にチャイルドシートでの使用時に、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

## 📖 ポイント！

出荷時には、肩ベルトは最も低い高さで調整されていますので、ご確認いただいた際に、適切な高さになっていれば、調整の必要はございません。その後は、お子さまの成長に応じて、適宜調整するようにしてください。

06

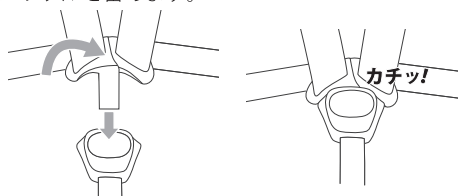
お子さまを降ろし、安全な場所にお子さまを移動させてください。

## ⚠ 注意

作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

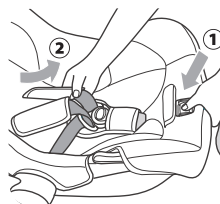
07

バックルを留めます。



08

①片手で、アジャストボタンを押しながら、②もう片方の手で左右の肩ベルトを図のように束ねて持って引っ張り、肩ベルトを緩めます。

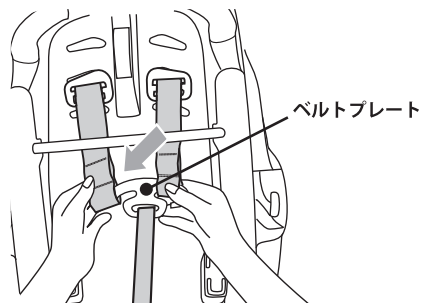


## 📖 ポイント！

左右の肩ベルトは束ねて持たないと、上手く肩ベルトが緩められません。

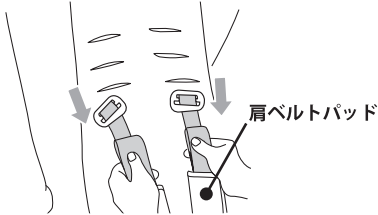
09

本体背面（裏面）のベルトプレートから、肩ベルトを左右とも取り外します。



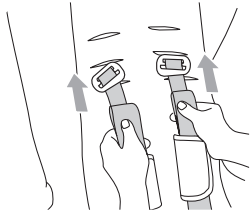
## 10

本体前面(背もたれ部分)の肩ベルト取り出し穴から、肩ベルトを引き抜きます。肩ベルトパッドが抜け落ちないように注意してください。



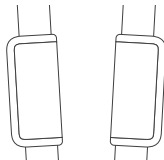
## 11

そのまま、調整したい目的の高さの肩ベルト取り出し穴に、肩ベルトを同じように差し入れます。この時、肩ベルトの左右を間違えたり、肩ベルトをねじったりしないよう注意してください。肩ベルトパッドには左右があります、必ず正しい向きで取り付けておいてください。



### 警告

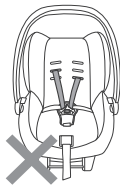
肩ベルトパッドには左右があります。肩ベルトパッドは、必ず正しい状態で取り付けてお使いください。



正面から見た状態

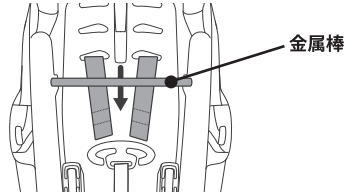
肩ベルトにねじれがないようにしてください。

肩ベルトの高さ(肩ベルト取り出し穴)の位置は、左右同じ高さにしてください。



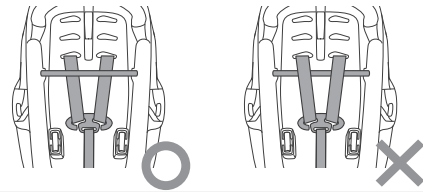
## 12

本体背面(裏側)から出てきた肩ベルトの端を引っ張り、本体の金属棒の下をくぐらせて通します。肩ベルトをねじらないよう注意してください。



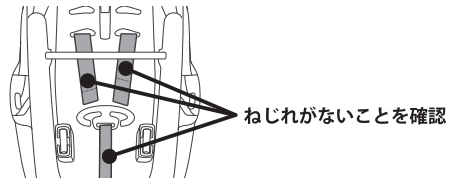
### 危険

肩ベルトは、必ず金属棒の下側を通してください。上側を通っていると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。



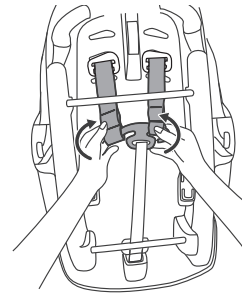
## 13

本体背面(裏側)のベルトプレートと繋がっているベルトにねじれがないか、肩ベルトにねじれがないか、今一度、確認します。



## 14

肩ベルトの端のループを、ベルトプレートに、奥までしっかり差し込んで取り付けます。左右を間違えないようにしてください。

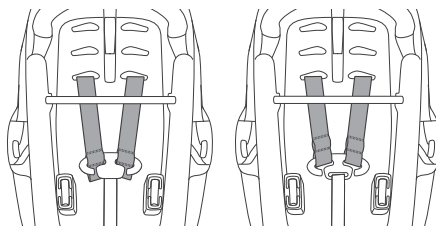




# 本製品の使いかた

## ポイント！

ベルトプレートに差し込むための肩ベルトの端のループは、左右それぞれの上下2か所にあります。下図のように、差し込むループによって肩ベルトの長さを調節することができます。



短くなります

長くなります

## 警告

肩ベルトの端のループは、左右とも同じ位置（どちらとも上、または下）でベルトプレートに差し込み、肩ベルトを左右同じ長さに調節してください。肩ベルトの左右の長さが違うと、本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。

## お子さまの乗せかた

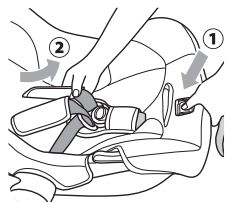
### ポイント！

お子さまを乗せる前に、以下を確認します。

- ・肩ベルトの高さが正しく調節されていること
- ・特に、月齢の低いお子さまの長時間の使用は避けてください（連続使用の上限は、1時間程度を目安としてください）

### 01

まずバックルを留めてから、片方の手で、左右の肩ベルトを束ねて持ち、①別の手でアジャスターボタンを押し込みながら、②肩ベルトを最後まで引き出して、肩ベルトをゆるめます。

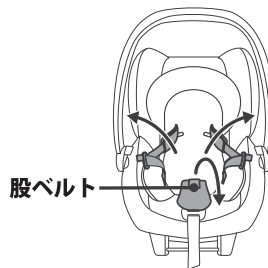


## 注意

肩ベルトの左右を同じ長さにするため、肩ベルトは左右束ねて持つようにしてください。

### 02

お子さまが座りやすいよう、あらかじめバックルを外し、肩ベルトと股ベルトを外側に出しておきます。



### 03

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。



楽な姿勢

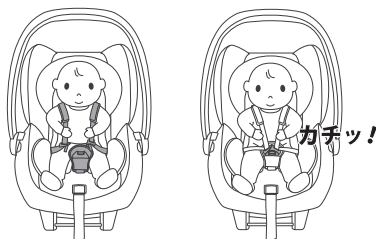


浅すぎる

深すぎる

### 04

お子さまの両足を股ベルトの間に入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、ベルト類にねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。





## ポイント!

バックルを留めるには、左右の差込タンクを合わせてから、受けバックルに差し入れます。詳しくは、P16の「バックルの使いかた」を参照してください。

お子さまを乗せて使用しないときもバックルは留めておくようにしてください。

## 危険

バックルが正常に機能しなくなり、大変危険です。受けバックルに異物が入らないように注意してください。

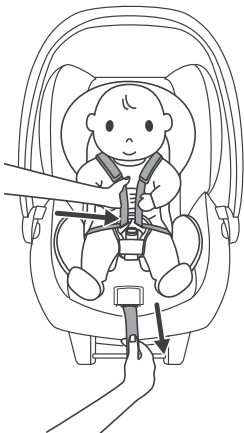
## 警告

バックルが正しく留まっていることを確認してください。

肩ベルト、股ベルトにねじれがでないようにしてください。

### 05

肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



片手の掌が差し込める程度に締めつけます

## 警告

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

### 06

最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないか確認してください。

## お子さまの降ろしかた

### 01

バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

## 警告

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

## ポイント!

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろするたびに、肩ベルトの高さが適切かどうか、確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

# チャイルドシートとして使用する

## チャイルドシートとして使用する

自動車座席への取り付けかた

### ⚠危険

本製品をフロントエアバッグの機能している座席に取り付けてはいけません。

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向き  
の自動車座席にのみ取り付けすることができます。

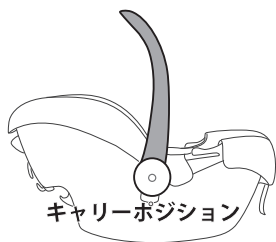


本製品は、進行方向に向かって後ろ向きにのみ  
自動車座席に取り付けることができます。



### 01

P16の「キャリングハンドルの使いかた」を参照して、キャリングハンドルをキャリーポジションに設定します。

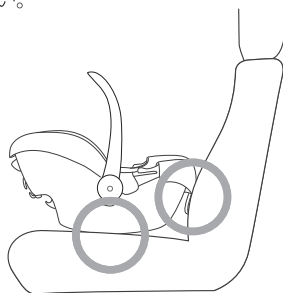


### ⚠警告

キャリングハンドルがキャリーポジション以外の場合、本製品を自動車座席に取り付けてはいけません。無理に取り付けると、本製品が破損するばかりでなく、衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。

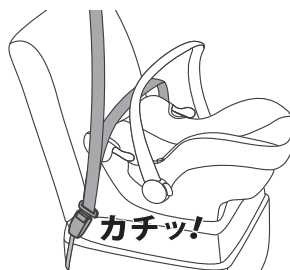
### 02

本製品を取り付ける自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。  
本製品の、底面が自動車座席の座面に、前端が自動車座席の背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



### 03

そのまま、図のように、座席シートベルトをねじらないように注意しながら、ゆっくりと引き出して、自動車ベルトタングを、自動車バックルに差し入れ、カチッと音がするように留めます。



### ⚠警告

座席シートベルトはねじらないようにしてください。ねじれがあると、衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

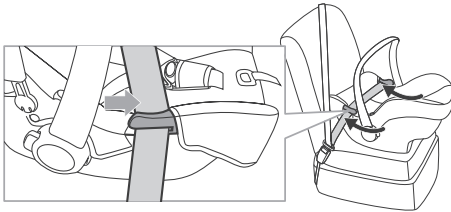
# チャイルドシートとして使用する

## ポイント！

作業中に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上作業ができなくなります。作業途中で、固定機能が働いてしまった場合には、P8の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

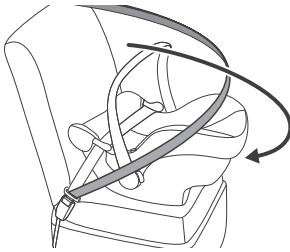
### 04

自動車腰ベルトを、本製品本体左右のサイドガイドに差し入れます。



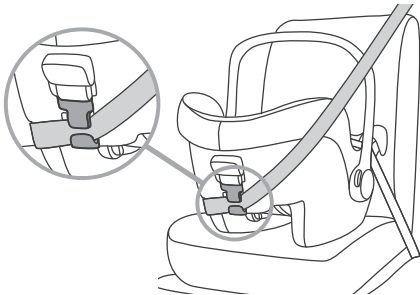
### 05

自動車肩ベルトをねじらないように注意しながら、本製品本体の背中側に回していきます。



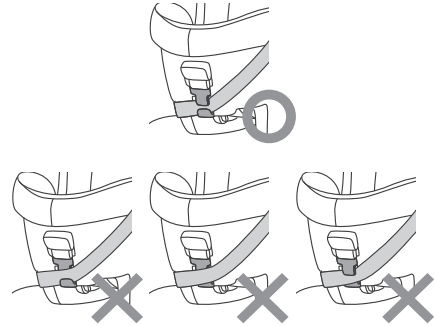
### 06

そのまま、自動車肩ベルトを本体背面のリアガイドに差し入れます。



## 危険

リアガイドは必ず正しくお使いください。自動車肩ベルトが正しくリアガイドを通過していないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車座席から外れて飛び出すおそれがあります。



## 警告

自動車肩ベルトにねじれがでないようにしてください。

### 07

自動車肩ベルトを強く引いて本製品をしっかりと自動車座席に固定します。



## チャイルドシートとして使用する・ベビーキャリーとして使用する

### ポイント!

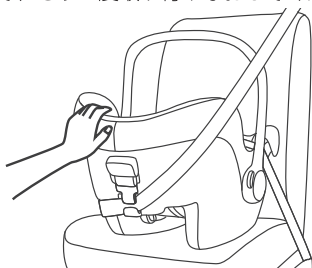
本製品の座面部分を強く押しつけながら、自動車肩ベルトを強く引いて、本製品を固定すると、より、しっかりと固定することができます。この際、自動車腰ベルトを押さないように注意してください。

また、座面部分を押しつける際に、バックルなどでケガをしないようご注意ください。



### 08

本体上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。3cm以上本製品が動く場合、取り付けが緩い状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。



### ⚠危険

取り付けが緩い状態のまま使用すると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が外れて自動車座席から飛び出すおそれがあります。

## ベビーキャリーとして使用する

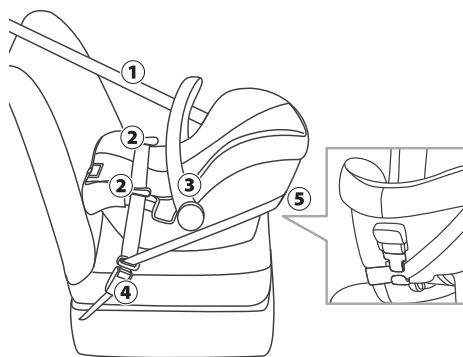
### 01

P16の「キャリングハンドルの使いかた」を参照して、キャリングハンドルをキャリーポジションに設定します。



### 09

最後に、正しく本製品が取り付けられているか確認します。一つでも違う部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



- |                                   |
|-----------------------------------|
| ① 座席シートベルトにねじれないこと                |
| ② 左右のサイドガイドに自動車腰ベルトが正しく差し込まれていること |
| ③ キャリングハンドルがキャリーポジションで固定されていること   |
| ④ 自動車ベルトバックルが正しく留まっていること          |
| ⑤ リアガイドに自動車肩ベルトが正しく通っていること        |

## ベビーキャリアとして使用する

### 警告

キャリアハンドルは確実に固定してください。キャリアハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子さまに強い負担が掛かるばかりでなく、お子さまが本製品から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

#### 02

P20の「お子さまの乗せかた」を参照して、お子さまを本製品に乗せます。

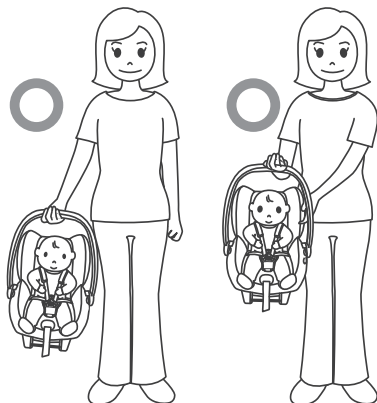
### 警告

チャイルドシートだけではなく、他の使用方法（ベビーチェア・ロッキングチェア、ベビーキャリア、ベビーカー用シート）の場合でも、お子さまの正しい乗せかたに違いはありません。肩ベルトを正しく調節し、バックルを留め、しっかりとお子さまを本製品に固定してください。いかなる場合でも、本取扱説明書の記載に従い、お子さまを本製品に正しく乗せてください。

#### 03

地面に水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握り、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。ゆっくりと持ち上げるようにしてください。使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平を保つのが難しくなりますので、より注意するようになってください。



### 警告

本製品を持ち上げる際には、キャリアハンドルを持つようにしてください。キャリアハンドルを持たずに本製品を持ち上げると、本製品が破損したり、バランスを崩し本製品が落下するおそれがあります。

お子さまが本製品から落下したり、ケガをするおそれがありますので、本製品を大きく振ったり、揺すったりしないでください。

本製品が落下したり、挟まったりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。車の屋根の上に置く、買い物カートに乗せる、テーブルや椅子の上に置く、などしてはいけません。



### 注意

使用中は、本製品を地面に対して水平を保つようにしてください。

狭い通路や、急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では、本製品が他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

本製品を持って走らないでください。

#### 04

地面に置くときは、平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

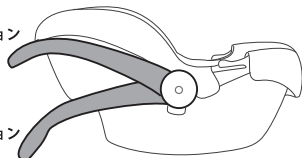
# ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

## ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

01

P16の「キャリングハンドルの使いかた」を参照して、キャリングハンドルを、ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジション、ベビーチェアとして使用する場合にはチェアポジションに設定します。

ロッキングポジション



チェアポジション

### ポイント！

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。  
チェアポジションでは、キャリングハンドルが前後の揺れを止め、安定しますので椅子として使用することができます。

02

P20の「お子さまの乗せかた」を参照して、お子さまを本製品に乗せます。

03

ベビーチェアとして使用する場合は、そのまま椅子として使用してください。  
ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



### 警告

必ず、お子さまを本製品に正しく乗せてください。

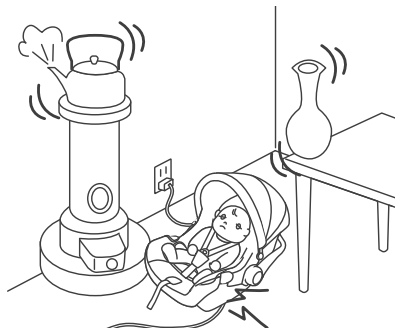
### 警告

本製品使用中は、お子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

ロッキングチェアモードで、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合、強く揺らしても効果が全くないばかりか、お子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。

本製品が落下したり、挟まったりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具、コンセント、ドア、窓、階段の近く、落下すると危険な物品の近くに本製品を置いて使用しないでください。  
また、お子さまに直接、暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。



### 注意

お子さまの健康のため、長時間にわたる連続使用は避けてください。特に、ロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様、お子さまの気分が悪くなるおそれがあります。  
また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。  
本製品の使用中は、常に大人の方が付き添い、お子さまの様子を確認するようにしてください。

# ベビーカー用シートとして使用する

## ベビーカー用シートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けて、ベビーカー用のシートとして使用することができます。

01

お使いのベビーカーが、本製品に対応していることを確認します。

### 警告

当社が指定するベビーカー以外に取り付けて使用してはいけません。

必ず、ベビーカーの取扱説明書を併せてご確認ください。

## 取り付けかた

02

ベビーカーの取扱説明書を参照して、ベビーカーのブレーキを掛けておきます。

### 注意

作業中にベビーカーが突然動かないよう、必ずブレーキを掛けてください。

03

ベビーカーのリクライニングを最も倒した状態にします。

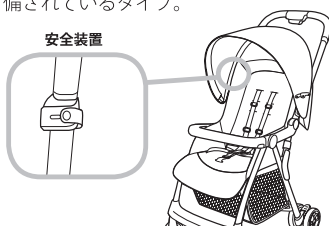
### ポイント！

ベビーカーのリクライニングが立った状態だと本製品が取り付けできません。

ソフトパッドが装備されているベビーカーの場合、ソフトパッドを予め取り外しておいた方が、本製品が取り付けやすくなります。

## A：トラベルシステム対応安全装置タイプ

ベビーカーのハンドルパイプに「安全装置」が装備されているタイプ。

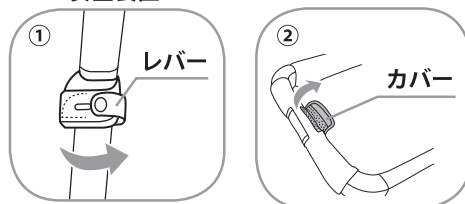


A-1

①ベビーカーの安全装置のレバーを回してツメを収納してください。

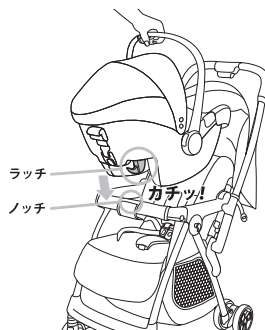
②ベビーカーのガードの面ファスナーを開けます。

### 安全装置



A-2

本製品背面のラッチと、トラベルシステム対応セイフティガードの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがトレイのノッチに噛みこんでいるか確認します。

この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだシッカリとは固定されていません。軽く、動かすだけにしてください。

### 注意

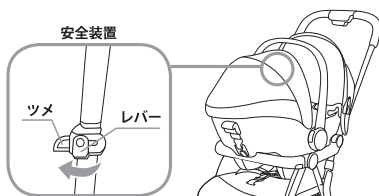
本製品は、まだシッカリとは固定されていないので、強く動かさないでください。セイフティガードが破損するおそれがあります。



## ベビーカー用シートとして使用する・お手入れのしかた・その他

A-3

安全装置のレバーを回してツメを出してください。



A-4

本製品を持って、軽く動かしてみて、しっかりと取り付けられているかどうか確認します。

### 取り外しかた

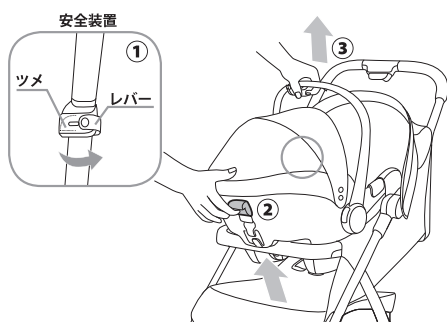
ベビーカーの取扱説明書を参照して、ベビーカーのブレーキを掛けておきます。

#### ⚠ 注意

作業中にベビーカーが突然動かないよう、必ずブレーキを掛けてください。

### A: トラベルシステム対応安全装置タイプ

①安全装置のレバーを回し、②ベビーカーリリースレバーを握り、ラッチを外して、③本製品を垂直に持ち上げてベビーカーから取り外します。



### 使用上の注意

ベビーカー用のシートとしてご使用いただく場合、以下の各点にご注意ください。

また、必ずベビーカー本体の取扱説明書をご確認の上、正しくお使いください。

#### ⚠ 警告

確実に本製品のラッチおよび安全装置で本製品を固定してください。

#### ⚠ 警告

P20の「お子さまの乗せかた」を参照して、お子さまを正しく本製品に乗せてください。

持ち上げる際に、ベビーカーリリースレバー部分を握らないでください。ベビーカーリリースレバーを握ると、ラッチが外れ、本製品が脱落するおそれがあります。

#### ⚠ 注意

作業中にベビーカーが突然動かないよう、必ずブレーキを掛けてください。

本製品が取り付けられた状態で、ベビーカーの折りたたみはできません。

ベビーカーを持ち上げる際は、ベビーカー本体を持って持ち上げるようにします。本製品のみを持って持ち上げないでください。

## お手入れのしかた・その他

### シートカバー、パッド類の取り外しかた

本製品では、お手入れのため、シートカバー、パッド類を取り外すことができます。

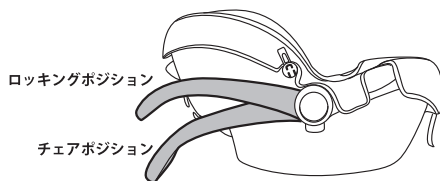
#### ⚠ 警告

シートカバー、パッド類を取り外した状態で、本製品を使用してはいけません。  
※キャノピーを取り外して使用することはできません。

本取扱説明書で指示のない部品を取り外してはいけません。

01

P16の「キャリングハンドルの使いかた」を参照して、キャリングハンドルを、ロッキングポジションまたはチェアポジションに設定します。

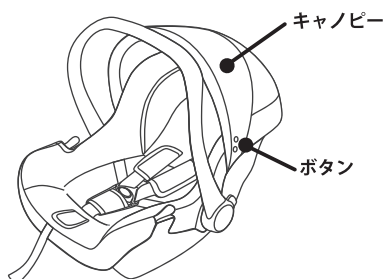




## お手入れのしかた・その他

02

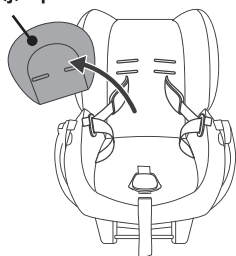
キャンピ어의両側に付いているボタンを外して  
キャンピ어를取外して下さい。



03

ヘッドサポートを取り外して下さい。

ヘッドサポート

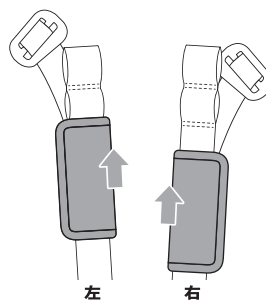


04

「肩ベルトの調整のしかた」P18の07～を参  
照して、肩ベルトをシートから抜き出します。

05

肩ベルトパッドを抜き取ります。



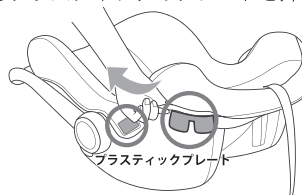
肩ベルトパッドには左右の向きがあります。肩ベ  
ルトパッドを取り付け直す場合、上図を参考にし  
て下さい。

### ⚠ 危険

お手入れ後は、肩ベルトおよび肩ベルトパッド  
を正しく取り付け直して下さい。  
肩ベルト、肩ベルトパッドが正しく取り付けら  
れていないと、本製品が所定の安全性能を發揮  
できません。  
「肩ベルトの調整のしかた」P19の11～14を  
参照して、正しく取り付け直します。

06

本体前（足元側）の左右から、シートカバーを留  
めているプラスチックのプレートを外します。



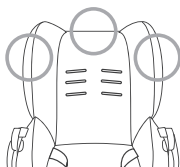
# お手入れのしかた・その他

## ⚠ 注意

本体に固定されている衝撃吸収材(スチロール)は取り外せません。また、衝撃吸収材を傷けないように作業してください。

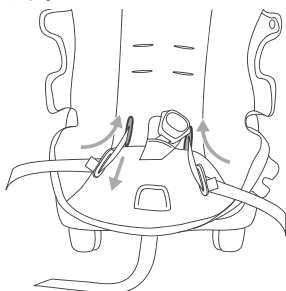
07

同様に、背もたれ部分の左右と、頭頂部のプラスチックプレートを取り外します



08

肩ベルトをシートカバーの腰の穴から、股ベルトをシートカバーの股ベルトパッドから、それぞれ抜き取ります。



09

シートカバー、パッド類の取り付けは、取り外しの逆手順で行います。

## ⚠ 危険

シートカバー、パッド類は、全て本製品が所定の性能を発揮するために必要な重要な部品です。必ず全ての部品を正しく取り付けられた状態でご使用ください。

## ⚠ 注意

取り外したパッド類やクッションなどは、お手入れが終わり、元に戻すまでの間、お子さまの手の届かない場所で保管してください。

## 汚れの落とししかた

### ○シートカバー、ヘッドサポート、パッド類

## ⚠ 注意

指定外の方法でシートカバー、ヘッドサポートパッド類を洗うと、破損、破れ、型崩れしたり縮んだりすることがあります。

手洗いすることができます。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を混ぜて手洗いしてください。

30℃以下の水で手洗いしてください  
軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

アイロンは使用できません

タンブラー乾燥はしないでください  
破損、縮みの原因となります。

ドライクリーニングをしないでください

シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください  
汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

漂白剤は使用しないでください  
劣化を早め、変退色の原因となります。

きつく絞らないでください。  
変形の原因となります。

### ○本体、ベルト類

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。

洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。

## ⚠ 注意

ベルト類、本体に取り付けられている衝撃吸収材(スチロール)は本体から分離できません。お手入れの際に、衝撃吸収材を破損しないようにご注意ください。

研磨剤、有機溶剤は使用しないでください  
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください

潤滑油、シリコンオイル等の油、オイル類は絶対に使用しないでください

### ⚠ 危険

いかなる場合でも、油、オイル類を使用してはいけません。本体を破損するばかりでなく、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

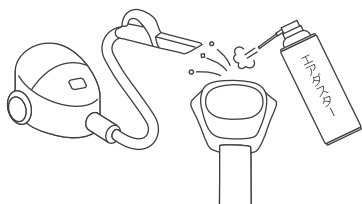
### ⚠ 注意

本体が濡れてしまった場合、柔らかい布で水分をよく拭きとって、完全に乾かしてから、シートカバー、パッド類を取り付けるようにしてください。

### ○バックル、差込タンク

バックルの表面と差込タンクは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

バックルの内側は、掃除機でゴミを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミを吹き飛ばすようにしてください。



洗剤類や潤滑油、シリコンオイル等の油、オイル類は絶対に使用しないでください

バックルが正しく機能しなくなるおそれがあります。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。

バックルの中にゴミやほこりなどが入らないようにしておきます

差込タンクに汚れが付着していたり、バックルの中に食べかすやゴミ、ほこり、砂が入っていると、バックルが正しく機能しなくなるおそれがあります。ご使用にならない時でも、バックルは留めておくようにしてください。

### ⚠ 危険

正しく差込タンクをバックルに差ししてもカチッと音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

### 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を自動車座席、ベビーカーから取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておいてください。

直射日光の当たらない、寒暖差が激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

### 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

